

2013年5月13日

各 位

JXホールディングス株式会社

「JXグループ中期環境経営計画（2013～2015年度）」の策定について

当社（東京都千代田区大手町二丁目、社長：松下功夫）は、グループ各社とともに「JXグループ中期環境経営計画（2013～2015年度）」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

JXグループは、地球環境との調和をグループ行動指針のひとつとして掲げ、CSR活動の重要テーマと位置付けています。その一環として、「JXグループ環境安全委員会」を運営しており、第1次中期経営計画（2010～2012年度）期間中においては、JXグループ各社における中期環境経営計画を策定し実行してまいりました。

このたび、第2次中期経営計画期間（2013～2015年度）における環境経営計画についてグループ内で検討・審議を重ねた結果、今後3か年の「JXグループ中期環境経営計画（2013～2015年度）」として策定することとなりました。

具体的な内容および目標は各事業会社の特性により異なりますが、JXグループ環境方針に基づく3大項目を共通目標項目として、今後目標の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

1. JXグループ中期環境経営計画における共通目標項目

- （1）地球温暖化防止・生物多様性保全策の推進
- （2）環境負荷の低減
- （3）環境マネジメント体制の充実

2. グループ各社の主な目標

- （1）JX日鉱日石エネルギー〈エネルギー事業〉

地球温暖化防止・ 生物多様性保全策の推進目標	環境負荷低減に向けた 目標	環境マネジメント体制充実 に向けた目標
①製油所等における省エネルギー対策の推進 （CO2排出量を2009年度比80万トン削減） ②環境配慮型商品の拡販・開発の推進 （CO2排出量を2009年度比130万トン削減） ③生物多様性保全に寄与する活動	①土壌汚染の調査および対策の推進 ②VOC削減対策の推進 （2000年度比50%削減を維持） ③廃棄物削減対策の推進 （最終処分率0.5%未満を維持） ④オフィスにおける環境負荷低減	①海外製造拠点を含めた環境経営体制の強化 ②環境貢献活動

(2) JX日鉱日石開発<石油・天然ガス開発事業>

地球温暖化防止・ 生物多様性保全策の推進目標	環境負荷低減に向けた 目標	環境マネジメント体制充実 に向けた目標
エネルギー使用量削減 (2012年度対比で、 2013年度:1%削減 2014年度:2%削減 2015年度:3%削減)	①廃棄物最終処分量の管理 ②生産排水中の油分濃度の管理 ③オフィスでの紙使用量削減の 意識づけ	①環境教育の実施 (新入・転入社員基礎教育等) ②環境マネジメント体制の 維持管理 (HSE委員会運営・EMS運用等)

(3) JX日鉱日石金属<金属事業>

地球温暖化防止・ 生物多様性保全策の推進目標	環境負荷低減に向けた 目標	環境マネジメント体制充実 に向けた目標
①CO2実排出量の削減 (2013~2015年度累計で317万トン 未満) ②エネルギー消費原単位の削減 (対前年比:1%削減)	無用途廃棄物比率の低減 (0.7%未満)	①環境教育の実施 (環境保全活動に関する教育等) ②金属グループ安全環境委員会の 運営 ③環境安全監査の実施

(4) その他事業

JXホールディングスおよびグループ会社は、電気使用量の削減(節電ルールの遵守)・紙使用量の削減・ゴミ分別の徹底など、各社の事業に応じた環境目標を設定し、目標の達成に努めます。

以上